

ヒト

横浜の女

横浜は開港以来、積極的に新しいものを受け入れ、常に文化の発信地として憧れの街です。多様な人々が行き交う街としても輝きを放ち続けてきました。

その多様な顔を持つ横浜らしい匂いのする女性の写真を募集します。被写体となる女性は必ずしも横浜生まれでなくてもかまいませんが、単に横浜の風景をバックに女性を撮影した作品ではなく、しっかりと横浜に根づいて生きている女性（住んでいる、働いている、通っている、など）を被写体とした作品とします。女性に焦点を合わせることで「横浜らしさとは？」を浮かび上がらせる写真展です。

規定サイズの範囲内（A1 サイズ）で納まれば何枚出していたいただいても OK です。組み写真にしていなくても必要はありません。（モノクロ、カラーは問いません。）

企画協力：写真家 三橋康弘

展示期間：2019年2月15日（金）～2月24日（日）

参加費：1 枠 /5000 円（A1 の範囲内で何枚でも）2 枠目からはプラス 4,000 円

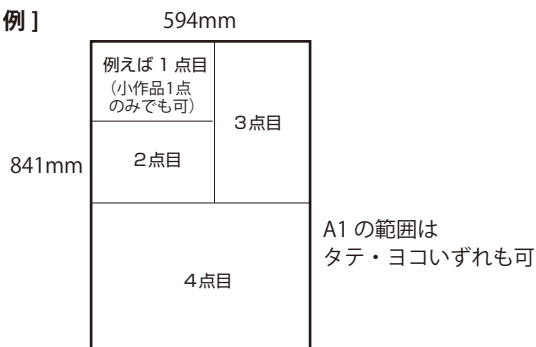
作品提出締め切り：2019年2月9日（土）16 時必着（持ち込み、郵送可）

作品について

応募形態：作品はすべてプリント形式でご応募ください。スライドやデータでの応募は受け付けません。

サイズ：最大 A1 サイズ以内に収まる枚数とします。（写真は余黒（余白）なし。並べて A1 の範囲内に収まれば 1 点でも数点でも可。）

[例]



出力ペーパー：半光沢ペーパー（厚手）にプリントアウトして提出（照明の反射を考慮）

※カラー、モノクロ可、写真は新作でなくて可

作品展示方法と取り扱いについて

1) 作品展示は、作品の裏面に作品は、裏側にドラフティングテープで保護した上で粘着力の弱い両面テープでの壁貼りとなります。作品の裏面からドラフティングテープを剥がす際に裏面が若干傷がつく可能性がございます。

2) 展示する場所は、作品内容により gallery fu が構成させていただきます。複数点出展していただいた場合でも 1 か所にまとめて展示されるかどうかはわかりませんので、ご了承ください。

3) 作品の取扱いには十分注意いたしますが、万一の事故（紛失・破損など）に対する責任は負いかねますので、ご了承ください。

[応募規定]

必ず被写体となる方に撮影および展示の許諾を得てください。被写体の肖像権（基本的人権）、著作権等侵害の責任は負いかねます。万一、第三者と紛争が生じた際は、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。

応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限り、他人の名前を使用した場合は無効になります。

[販売]

販売は可能ですが、その際も必ず被写体となる方の同意を得ている作品に限ります。

作品販売：テーマ 1、テーマ 2 とも作品は販売できます。（販売手数料 20%）販売の諸注意は別途メールにて送らせていただきます。

応募要項

参加費：テーマ 1 参加 5000 円（税込）、テーマ 2 参加 7000 円（税込）（1 テーマ 2 枠以上ご希望の方はお申し付けください。）

※搬入・搬出にかかる費用は各自ご負担いただきます。また参加費はご返金できません。

応募受付期間：2018 年 11 月 14 日（水）～12 月 31 日（月）

※定員に達し次第締め切らせていただきます。

参加資格：プロ、アマを問いません。

申し込み方法：氏名（フリガナ）、住所、電話番号、メールアドレス、参加テーマ 1,2 のいずれかをお書きの上、

メール galleryfu@outlook.com までお申し込みください。参加費の振込先、詳細をご連絡させていただきます。



www.galleryfu.com

〒231-0868 横浜市中区石川町 1-31-9

phone:070-6429-8597

www.facebook.com/galleryfu

ご応募・お問い合わせ

テーマ 1・テーマ 2 とも：galleryfu@outlook.com

※件名に PHOTO YOKOHAMA 募集内容テーマ 1 またはテーマ 2 とお書きください。

お電話でのお問い合わせ（12:00-18:00 日曜日、月曜日を除く）

070-6429-8597

[モノクロ写真]

銀の粒に惚れ、ピクセルにときめく —フィルムとデジタルでモノクロ表現は変わるか?—

1999年頃に市場に出現したデジタルカメラは、2002年にフィルムカメラの出荷台数を上回ると急速に普及、フィルムカメラを一気に駆逐します。そして、2010年には1億2000万台を出荷しピークを迎えます。一見するとデジタル画像一色になったように思えますが、日頃、写真展に足を運ぶと、デジタル作品だけではなくフィルム作品も少なくはないことを実感します。そこで「デジタルカメラで作品を創るときと、フィルムカメラで作品を創るときとで、その表現が変わるのか?」という疑問です。本展は、一人の方がデジタルとフィルム、両方のモノクロ作品を展示することで、その表現の違いを考える実験的な公募展です。

企画協力：写真家 生越文明

展示期間：2019年3月1日（金）～3月10日（日）

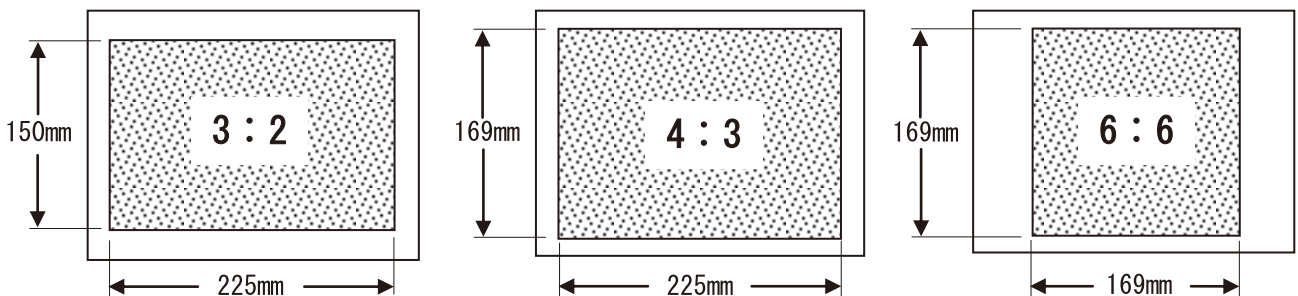
応募作品：フィルム作品1点 / デジタル作品1点の合計2点で1枠

参加費：1枠/7000円（ブックマット材料費及び組み立て工賃を含む）2枠目からはプラス5,000円

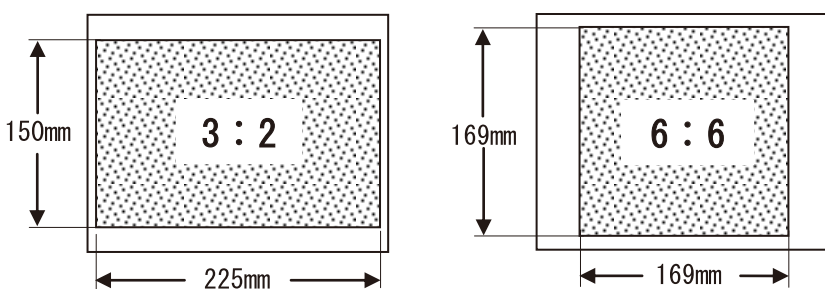
展示方法：12×15in. (305mm×380mm)ブックマットにて展示（展示終了後にブックマットごと返却します）

作品サイズ規定：下記の通りプリントをして **2月23日までに提出**してください。

デジタル作品の場合：A4 写真用紙 (210mm x 297mm) 使用



フィルム作品の場合：六つ切 RC 印画紙 (203mm x 253mm) 使用



重要

写真展準備のため、下記情報を2月16日までに必ずご連絡ください。

- ・縦横の比率 (3:2, 4:3, 6:6)
- ・構図の縦/横
- ・作品データ (200KB程度)

[オプション] 公募展の作品創りのための各種イベント^(*)も開催しますので、併せてご参加ください。

- 1) フィルムカメラ撮影会：1月12日（土）10:00～17:00 場所 横浜市内 料金=2,000円+レンタルカメラ代^(*)
- 2) デジタルカメラ撮影会：1月19日（土）10:00～17:00 場所 横浜市内 料金=2,000円
- 3) セレクト相談会：2月2日（土）12:00～18:00 場所 未定 料金=1,000円
- 4) 暗室作業体験会：2月9日（土）13:00～16:00 ザ・ダークルーム 料金=3,000円+設備使用料
- 5) デジタル・プリント会：2月16日（土）13:00～16:00 カロタイプフォトワークス 料金=3,000円+設備使用料

(*1) 詳細については、講師(写真家 生越文明)より、別途ご連絡致します。

(*2) フィルムカメラをお持ちでない方は、(有)カメラのスズキよりレンタルも予定しています。

[応募規定]

被写体の肖像権(基本的人権)、著作権等侵害の責任は負いかねます。万一、第三者と紛争が生じた際は、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限ります。他人の名前を使用した場合は失格になります。